平成２５年５月１０日

各　位

会社名　　東亜バルブエンジニアリング株式会社
代表者名　代表取締役社長　唐澤　裕一
（コード：６４６６、東証大証第二部）
問合せ先　　管理本部長　飯田　明彦
（TEL．０６－６４１６－１１８４）

剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、平成２５年５月１０日開催の取締役会において、平成２５年３月３１日を基準日とする剰余金の配当を下記のとおりとすることを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1．配当の内容（中間期末配当）

	決　定　額	直近の配当予想 （平成25年2月12日公表）	前期実績 （平成24年9月期中間）
基準日	平成25年3月31日	平成25年3月31 日	平成24年3月31 日
1株当たり 配当金	00円00銭	未定	30円00銭
配当金総額	－	－	70百万円
効力発生日	－	－	平成24年6月18日
配当原資	－	－	利益剰余金

2．理由

福島原発事故以降、国内のほとんどの原発が再稼動されない今日の状況は、当社グループの主要マーケットの不確実性が非常に高まった状態と考えられ、これに起因し短期的にも中期的にも、将来業績の想定が難しい状況が続いております。そして当期については特に税効果会計の取扱いが定まらないことから、当期純利益の想定を未定として公表せざるを得ず、それに伴い配当についても、中間、期末ともに未定としてまいりました。

しかし当第2四半期までの業績（※1）は、当初の通期想定に較べれば改善の方向で推移しており、通期売上についても当初想定より上積みを見込める状況となったことから、業績想定は当初想定を上方に修正（※2）いたしました。また、これまで未定としておりました当期純利益は、税効果会計の取扱いを、当第2四半期末で繰延税金資産の回収可能性が無いと判断し全額を取り崩すことに決定したため 11 億円の赤字想定といたしました。

来期以降の見通しにつきましては、原発再稼動が今秋以降と想定されることから、今後、当社グループを取り巻く業況が回復していくことは確実と考えるものの、原発再稼動後の次回定期検査が行われるのは平成 26 年秋以降となり、原発関連収益による業績回復には今しばらく時間を要するものと見込まれます。

つきましては、このように依然、不透明な状況にあっては当面の資金確保と財務体質の維持は最重要命題とせざるを得ないことから、当期の中間配当は見送り（無配）の決定とさせていただきます。

期末の配当につきましては、今後、原発の再稼動状況が明らかになった中で、中期的な利益計画、資金計画の確実性が高まることを見極めたうえで最終的な方針を決定いたしたく、引き続き未定とさせていただきます。

※ 1　詳細は本日公表いたしました「平成 25 年 9 月期　第 2 四半期決算短信[日本基準](連結)」をご参照下さい。
※ 2　詳細は本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以上